# 前高の10年間の軌跡

前原高等学校

本校は昭和20年11月、当時の具志川村前原地区に前原高校として開校し、昭和21年３月に肝高の森、与那城村西原に移転、その後昭和33年６月に湛水の里、具志川市田場に移転し現在に至っている。今年で68年目を迎えた伝統校であり、「進取・誠実・奉仕」を校訓に、教育活動に取り組んでいる。

本校は、かつて文武両道の名門校であり、野球部の３度のわたる甲子園出場その他陸上、相撲、バスケットボール、柔道、バレーボール、ハンドボール等は高体連の「栄光の軌跡」として記録されている。

本校は平成６年に普通科にコース制を導入して以来、総合スポーツコースにおける重点種目の卓球、バスケットボール、空手道を中心にその他、水泳、陸上などめざましい活躍をしている。

過去10年間の体育系部活の顕著な実績（高体連主催大会上位２位以上）を紹介する。

**平成16年度**

県高等学校総合体育大会（平成16年6月）
　卓球競技　女子団体、女子シングルス　優勝
　　男子シングルス　２位
　男子バスケットボール　優勝

**平成17年度**

県高等学校総合体育大会（平成17年６月）
　陸上競技　3000M競歩　女子１位、２位
　自転車競技　3KMインディビジュアル　2位
県高等学校新人体育大会（平成17年10月）
　陸上競技　3000M競歩　女子１位
　卓球競技　女子団体２位、シングルス２位

**平成18年度**

県高等学校総合体育大会（平成18年5月）
　陸上競技　3000M競歩　女子　１位、２位
　　８種競技　１位
　卓球競技　女子シングルス２位
県高等学校新人体育大会(平成18年９～10月)
　陸上競技　3000M競歩　女子１位
　卓球競技　女子団体　２位

**平成19年度**

県高等学校総合体育大会（平成19年６月）
　卓球競技　女子団体　２位
　水泳競技　男子100Mバタフライ　１位
県高等学校新人体育大会（平成19年11月）
　卓球競技　女子シングルス、ダブルス１位

**平成20年度**

県高等学校総合体育大会（平成20年６月）
　水泳競技　男子200M個人メドレー　１位
県高等学校新人体育大会（平成20年10月）
　空手道　女子個人組手　２位

**平成21年度**

県高等学校総合体育大会（平成21年６月）
　水泳競技　男子200M個人メドレー　１位
県高等学校新人体育大会（平成21年10月）
　空手道　男子総合２位、団体組手、個人形２位

**平成22年度**

県高等学校総合体育大会(平成22年５月～６月)
　空手道 男子団体組手　優勝、
　　男子個人形２位
　陸上競技　男子走幅跳1位、三段跳　１位
　水泳競技　男子200M個人メドレー　１位
県高等学校新人体育大会（平成22年10月）
　空手道 男子団体組手　２位

**平成23年度**

県高等学校総合体育大会(平成23年５月～６月)
　水泳競技　男子200M個人メドレー　１位
　　男子400M自由形　２位
県高等学校新人体育大会(平成23年９月～11月)
　陸上競技　男子三段跳　２位
　水泳競技　男子200M個人メドレー　１位
　　男子100M平泳ぎ　２位
　　女子50Mバタフライ　２位

**平成24年度**

県高等学校総合体育大会（平成24年６月）
　空手道 男子団体組手　優勝
　卓球女子団体　２位
県高等学校新人体育大会(平成24年10月～11月)
　空手道　男子団体組手　優勝
　　男子個人組手　１位、男子総合２位
　卓球女子　団体１位、ダブルス１位、シングルス１位、２位
　男子バスケットボール　２位

**平成25年度（8月現在）**

県高等学校総合体育大会（平成25年６月）
　空手道　男子団体組手　優勝
　　男子個人組手　２位、男子総合２位
　卓球女子団体　２位
　陸上競技　男子800M

# 創立47年間の部活動のあゆみ

真和志高等学校

本校は、昭和41年10月27日琉球政府立真和志高等学校として設立認可になり、翌42年４月６日に開校式と第１回の入学式が奥武山陸上競技場の仮校舎で勉学、同年７月28日本校舎へ移転した。学校名も祖国復帰と同時に沖縄県立真和志高等学校となり現在に至る。創立４７年には数多くの体育系部活動が活躍し、数々の栄光に輝いている。過去の歴史と現状について紹介する。

弓道部は早くから県内大会で優勝や準優勝をし、個人の部においても優勝者や国体選手を排出した伝統ある部として有名である。男子は昭和48年、51年、54年に県大会優勝。女子は49年、50年、55年、56年及び57年に優勝し、49年及び50年には九州大会で２連覇を成し遂げ、全国大会でもベスト８に入賞するなど活躍した。

女子バレー部は昭和51年頃から活躍が目立ち、県総体昭和52年、53年、54年に優勝、52年の７月には九州大会で沖縄女子初の準優勝に輝いている。また、53年の全国大会では、浜松湖東高校と名門の八王子実践高校を下し、３回戦まで駒を進めた。剣道部は昭和54年に男子が玉竜旗大会に出場、３回戦まで進出、翌54年の同大会に上間泰司選手が５人抜きで表彰された。女子の部の活躍は県総体では55年、56年及び58年に団体優勝し58年は個人戦も制している。また、同年の九州大会で久高秀美選手が個人３位に、全国大会ベスト16の成績を挙げたことは立派であり、伝統ある部の一角を占めている。

軟式テニス部も数多くの大会で男女とも上位の成績を上げ、昭和54年の県総体で男子団体と個人で優勝した。同年の全国大会で男子団体ベスト８入りを果たし、それ以外の九州大会や全国大会にも数多くの選手を派遣し実績のある部である。58年の九州大会では個人ベスト16の成績を残した。

ラグビー部は昭和48年の新人大会で優勝、52年の同大会で準優勝、54年第１回全九州ラグビーフットボール大会沖縄大会予選で準優勝、名護市長杯での活躍があった。サッカー部は昭和49年の新人大会優勝、同年九州大会予選で優勝、53年県総体で準優勝した実績のある部である。テニス部は57年の新人大会で男子団体準優勝し県代表として九州大会に出場した。58年の県総体では女子が団体戦３位の成績を挙げている。水泳は県記録保持者２名が活躍した。平泳ぎの板良敷かの子選手は100M、200Mの県記録保持者、国場智子選手は自由型100M、400Mの県記録保持者である。共に九州大会、全国大会、国体などに活躍した。陸上部も県内大会の各種目で上位入賞し、南九州大会にも選手を派遣した実績のある部である。

レスリング部は平成10年に創部し、平成12年の県総体において個人50キロ級で優勝し、国体に県代表として出場した。平成13年には県総体（学校対抗戦）で初優勝を飾り、個人54キロ級で優勝、同年の九州大会で３位入賞を果たし、同年国体の県代表として54キロ級及び58キロ級２名が出場し、54キロ級で５位入賞している。平成14年には県総体（学校対抗戦）で準優勝すると共に、個人58キロ級と69キロ級が優勝を果たした。同年国体の県代表として選出されている。平成15年には県総体（学校対抗戦）で準優勝、個人の部では69キロ級が優勝し、同年九州大会ベスト８の実績を残した。

平成16・17年は県総体で体操競技男子団体２位となり九州総体に派遣されている。レスリングは平成16年個人戦に１名が九州総体に派遣され、平成17年においても県総体団体２位となり、個人50キロ級優勝などの活躍がある。平成18年には県総体で体操競技団体２位、レスリング個人66キロ級優勝など県大会においてコンスタントに上位入賞を果たしている。平成19年の県総体においてはレスリング競技個人50キロ級で優勝し、九州・全国大会に派遣されている。また、ボクシング競技においてモスキート級で準優勝、新人大会ボウリング競技で男子個人優勝するなど個人戦での活躍があった。

平成20年は県総体でボウリング競技男子個人２位、レスリング競技個人３位入賞。新人大会レスリング競技個人優勝。平成21年県総体レスリング競技個人３位。県新人ラグビー大会10人制の部優勝。平成22年は県総体レスリング競技個人60キロ級３位。平成23年県新人大会テニス競技団体Ｂブロック準優勝に輝いている。

現在本校の体育系部活動数11、同好会５種目あり、県内上位進出を目標に日々練習に励んでいるところである。今後においても部活動の活性化に職員、生徒一体となって取り組み、健全な肉体と明朗な精神を培っていきたい。

# 我が校運動部の足跡

美里高等学校

沖縄市の北側に広がる閑静な松本住宅街の中央高台に、前原高校とコザ高校の生徒数の過密状態を解消すべく昭和53年４月に開校して今年で36周年を迎える事になりました。

本校の運動部の活躍の歴史は輝かしく、特に開校２年目にして卓球女子ダブルスで全国総体へ参加。

団体では県高校総体６連覇を達成。

男子バスケットも県総体優勝、女子ハンドボール県高校選手権優勝、男子ハンド県総体準優勝、女子バレー新人大会準優勝の実績があります。

他にも水泳、ソフトボールなども上位進出した実績があります。

その後も数々の運動部活動が県大会優勝・準優勝・全国大会出場などの輝かしい実績を確実に積み重ねております。

平成10年代に入り、本校教育課程の大幅な改変、通学区域の拡大、県立学校編成整備計画におけるインターナショナルスクール構想等、行政の教育改革のあおりを受けて学校の方向性が大きく揺れる状況がありましたが、部活動においては男子バレー、男子ハンド、男子卓球、自転車などで上位入賞の結果を出しています。

そのまま歴史を引き継ぐように近年も女子サッカー、ボウリング、ラグビー、体操、水泳、自転車、卓球の部活が優勝や上位入賞と伝統を受け継いでいます。

平成25年度の運動部活加入率は20%台と加入率は低く、部の状況としては楽観出来ない状態である。その中で県内高校69校中平成21年 総合45位、22年 29位、23年 23位、24年 19位、25年 19位と年々力をつけてきて順位を上げてきています。

これも部員・部顧問が日々の練習を頑張り、それを学校・保護者・地域が一体となって、よりよい部活動が出来る環境つくりに精進しているからだと思います。

以下が、平成16年から平成25年までの本校運動部の輝かしい実績の足跡になります。

**【体操】**

H19.県総体女子個人総合 優勝
H20.県総体女子個人総合 優勝
H21.県総体女子個人総合 ２位
H24.県総体男子個人総合 優勝

**【ボウリング】**

H22.新人大会個人女子の部　２位
H23.県総体女子団体 優勝
H23.県新人大会女子団体　２位
H23.県新人個人男子 優勝
H24.県総体男子団体 優勝
H24.県総体男子個人　３位
H24.県総体女子個人　３位
H25.第16回全国選手権大会 男子個人 優勝
H25.県総体女子団体　２位
H25.県総体女子個人　２位
H25.県総体男子団体　３位

**【女子サッカー】**

H21.県総体　３位
H21.県新人大会　優勝
H22.県総体　優勝
H23.県新人大会　優勝
H23.県総体 準優勝
H23.第22回九州女子選手権　３位
H23.第20回全国女子選手権出場
H23.県新人大会　優勝
H24.県総体　優勝
H24.第22回九州選手権　３位
H24.第23回九州選手権　3位
H24.県新人大会　優勝（４連覇）
H25.県総体　優勝
H25.第2回九州大会　３位

**【ラグビー】**

H23.県新人大会10人制　優勝
H24.県新人大会15人制　３位
H25.県総体15人制　３位

**【水泳】**

H24.県総体平泳ぎ100m 200m　２位
H25.県総体平泳ぎ100m ２位、200m　３位
バタフライ100m ３位、200m　２位

以上が我が校の平成16年から平成25年までの足跡になります。平成21年に体育館も新築され、体育館、グラウンドでは日々生徒の声が響き渡り、学校は活気に満ち溢れております。今後も更に精進を重ね部活動を通して社会に貢献できる人材の育成に努めていきたいと思います。

# 本校の体育系部活動の足跡

美里工業高等学校

本校は、昭和42年９月に琉球政府立中部産業技術学校として設置され、学校名が昭和45年４月に琉球政府立美里工業高等学校、昭和47年５月沖縄県立となった。平成25年の９月には46周年を迎える。平成25年の３月までに9245名の卒業生を社会に送り出している。平成６年に調理科を新設し、現在機械科(80名)、電気科(80名)、建築科(40名)、設備工業科(40名)、調理科(40名)　５学科７学級・一学年280名の入学定員。校章には、天空を指す「ペン先」は「希望」と「発展」を、下方の「丸みのライン」は「基礎」と「安定」を、中央の「歯車」は「活動」と「和」を表現する六つのキーワードが込められている。体育館正面に掲げられている懸垂幕には「『自己実現』美工は、学習意欲のある者、部活加入者、資格取得挑戦者を応援します」と体育館前を毎日通過する生徒を鼓舞しており、校訓「自主」「敬愛」「勤労」の具現に一生懸命努力する生徒を支援する教職員・保護者に感謝。

**体育系部活の足跡**

**平成16年**

○県高校総合体育大会：ボート優勝３種目完全制覇・バレーボール部準優勝
○全沖縄高校秋季バレーボール選手権　優勝５連覇
○県高校新人体育大会：ボート３種目優勝・バレーボール準優勝・ボクシング準優勝

**平成17年**

○全国高校バレーボール選抜優勝大会沖縄地区予選大会３位
○県高校総合体育大会：ボート部（男女優勝）
○県高校新人体育大会：ボート部優勝（11連覇）・バレーボール部男子優勝

**平成18年**

○沖縄県高等学校バレーボール優勝大会準優勝
○平安杯全九州バレーボール総合選手権大会兼国体選手選抜高校県予選大会準優勝
○県高校総合体育大会：ボート部男子団体12連覇　全国大会へ出場

**平成19年**

○県高校新人体育大会：ボート優勝・フェンシング優勝・バレーボール男子３位・相撲軽量級３位

**平成20年**

○県高校総合体育大会：ボート男子準優勝・フェンシング男子優勝・バレーボール男子３位
○ボート競技　室原杯九州ビギナーズレガッタ：ダブルスカル優勝
○県高校新人大会：ボート優勝・バレーボール男子準優勝・フェンシング部男子優勝、女子準優勝

**平成21年**

○県高校総合体育大会：ボート男子優勝
フェンシング男子優勝・フェンシング女子準優勝
○県高校新人大会：ボート部優勝・フェンシング部男子優勝

**平成22年**

○県高校総合体育大会：ボート男子優勝・フェンシング男子優勝
全九州高等学校総合体育大会ボート競技出場
○県高校新人大会：ボート男子優勝・相撲準優勝・バレーボール男子３位・フェンシング女子３位

**平成23年**

○県高校総合体育大会：ボート男子団体優勝、男子個人ダブルスカル優勝
○全九州高等学校総合体育大会ボート競技出場
○全九州高等学校相撲競技大会出場
○全国高等学校総合体育大会ボート競技 出場
○国民体育大会九州ブロック大会秋季大会ボート競技出場
○国民体育大会九州ブロック大会秋季大会バレーボール競技出場
○国民体育大会出場バレーボール競技出場
○全国高等学校選抜競漕大会九州地区予選ボート競技出場

**平成24年**

○フェンシングOTV杯選手権大会　フルーレ：１位、３位・エペ：２位、３位・サーブル：１位、２位
○県高校総合体育大会：バレーボール競技男子３位
○全九州高等学校総合体育大会自転車競技出場
相撲競技80キロ以上100キロ未満級３位・ボート男子団体３位・ボート男子シングルスカル３位・フェンシング女子団体２位
○全九州高等学校相撲競技大会出場
○国民体育大会九州ブロック大会夏季大会ボート競技出場
○高体連中部支部バレーボールリーグ１年生大会男子優勝
○沖縄県高等学校１年生バレーボール大会　男子優勝
○国民体育大会九州ブロック大会少年男子ソフトボール競技出場
○県高校新人体育大会：テニス男子Ｂブロック準優勝・ボート男子団体優勝・男子ダブルスカル優勝・自転車競技競輪３位・相撲競技　中量級３位・バレーボール競技男子準優勝
○全国高等学校選抜競漕大会九州地区予選出場（ボート競技）
○沖縄県高等学校野球１年生中央大会 優勝
第85回記念選抜高等学校野球大会に沖縄県高野連から県代表「21世紀枠」推薦校に選定

**平成25年**

○全沖縄高校冬季バレーボール選手権大会男子３位
○全九州選抜高等学校バレーボール大会男子出場
○県高校総合体育大会：バレーボール競技男子３位・ボート部男子シングルスカル1位、九州大会出場・ボクシング男子フライ級３位
○第95回全国高校野球選手権記念沖縄大会準優勝

# 美来工科高校の活躍

美来工科高等学校

## 校 訓

**物心一如……心が動けば物は生きる。**
**協力一致……学校が一致した考えを持ち、学級が仲良くするなら、すばらしい力が生まれる。**
**謙虚な心……謙虚な気持ちで先達の知識を教わり、それを更に発展させ、子々孫々に伝える。**

### 校章

校章を図案化するにあたり、創立当初の中部工業高校の敷地に蘇鉄が自生していた頃を思いうかべ、蘇鉄をヒントに図案化する。

形の中で最も安定化を有するのは三角形で、この上下の弓の矢に似ているのは蘇鉄の葉であり、真ん中の蘇鉄の実の形をしたのが「中」を表わしている。蘇鉄は鉄を好み、特に衰弱したとき鉄分を与えると回復し、また、工業高校においては鉄とのかかわりが深いことから三つの図案：喜友名朝紀氏蘇鉄の葉は、生徒、教師、父母の三者を意味し、この三者が一体なって教育目標に向かって進むのである。

われわれの生活能力、技能、技術に密接な関係があり、本校の願いを象徴する植物で、この蘇鉄を図案化したのが本校の校章である。且つ本校の限りなき発展の象徴である。

☆学校創立昭和38年９月27日
☆設置学科：機械システム科・自動車工学科・電子システム科・都市環境科・ＩＴシステム科・コンピューターデザイン科
☆生徒数896人（24学級）
☆職員数117人
☆所在地沖縄市越来三丁目17番１号

### 【これまでの主な実績】

昭和54年には第61回全国高等学校野球選手権沖縄大会において優勝し、夏の高校野球選手権に出場しました。平成13年度の沖縄県高等学校総合体育大会男子総合優勝、平成14・15年度の全国高校総体ウエイトリフティング男子個人で２年連続の全国優勝を成し遂げ、平成13年度にはソフトボール部が全国３位の栄光に輝きました。

**＜平成25年度部活動＞**（４月末現在）

【体育系】

| 学年 | １年 | ２年 | 3年 | 部員数 |
|---|---|---|---|---|
| 部員数 | 101 | 106 | 81 | 288 |

【文化系】

| 学年 | 1年 | ２年 | ３年 | 部員数 |
|---|---|---|---|---|
| 部員数 | 72 | 114 | 103 | 289 |

【部活動加入率】

| 学　　年 | １年 | ２年 | ３年 | 部員数 |
|---|---|---|---|---|
| 部加入者数 | 173 | 220 | 184 | 577 |
| 生　徒　数 | 298 | 309 | 289 | 896 |
| 部活動加入率 | 58.1 | 71.2 | 63.7 | 64.4% |

【過去３カ年のデータ】

| | 部加入者数 | 生徒数 | 部活動加入率 |
|---|---|---|---|
| H23 | 594 | 918 | 64.7% |
| H24 | 617 | 922 | 66.9% |
| H25 | 577 | 896 | 64.4% |

**～本校生徒のがんばり～**

**【平成24年度の主な実績】**

**【体育系】**

・ボクシング部　沖縄県新人体育大会　優勝
　　九州新人大会　準優勝
・ボウリング部　沖縄県新人体育大会　優勝
　　全国高体連加盟校選抜大会出場
・ボート部　沖縄県新人体育大会　優勝
　　全国高校総体　出場
・ソフトボール部　沖縄県春季高等学校ソフトボール大会　準優勝
・ゴルフ部　沖縄県高校総体　準優勝
・柔道部　沖縄県高校総体　３位

平成25年度は全九州高校体育大会においてボクシング男子バンタム級Bパートで優勝。

（文責　校長　田仲康成）

# 高い次元での文武両道

宮古高等学校

本校は、沖縄県立第二中学校分校を前身とする創立80年余を誇る宮古地区の拠点校であり、歴史ある進学の伝統校として、文武両道の校風のもとに、生徒一人一人の自己実現を目指して、日々の教育活動を行っております。

校訓は「知性の啓培」「徳性の涵養」「体力の錬磨」であり、民主社会の形成者にふさわしい、知、徳、体の調和のとれた人材を育成することが教育目標です。

スポーツ・文化面においては、男子サッカー部の全国高等学校サッカー選手権大会出場をはじめ、全国ウェイトリフティング大会２位、県高校野球新人中央大会優勝、県高校駅伝新人大会女子優勝、NHK杯放送コンテスト全国大会入賞九州高校吹奏楽アンサンブルコンテスト銀賞、県高文祭絵画部門最優秀賞などの活躍があります。全生徒の８割が部活動をしており、体育系、文化系ともに活発です。高い次元での文武両道を目指しています。

**《平成16年》**

・沖縄県高等学校総合体育大会
　柔道競技団体３位　個人（平良光３位）
　陸上競技走り高跳び（村吉貴光３位）
・沖縄県高等学校新人体育大会
　柔道競技団体３位

**《平成17年》**

・第87回全国高校野球選手権沖縄大会ベスト８

**《平成19年》**

・第34回沖縄県高校野球新人１年生大会ベスト８

**《平成20年》**

・第19回全九州選抜バレーボール大会出場（女子）

**《平成21年》**

・九州高等学校総合体育大会
　女子バレーボール競技　水泳競技２名出場
・国体少年女子バレーボール選手選考会２名選出
・沖縄県高等学校新人体育大会
　水泳競技　自由形（川満葵３位）九州出場
　バスケットボール　男女ベスト４
　柔道競技団体３位　　ラグビー　３位

**《平成22年》**

・沖縄県高等学校総合体育大会
　柔道競技団体３位　ラグビー競技３位
　バスケットボール　３位
・沖縄県高等学校新人体育大会
　陸上競技　ハンマー投げ（下地紘太３位）
　　走り高跳び（下里佳也２位）
・第27回全九州高等学校新人陸上競技大会
　走り高跳び（下里佳也２位）
・沖縄県総合体育大会秋季ラグビー競技大会準優勝

**《平成23年》**

・沖縄県高等学校総合体育大会
　陸上競技　男子総合３位
・全九州総合体育大会男子陸上・水泳出場
　走り高跳び（下里佳也６位）全国出場
・沖縄県サッカー祭りU-16　Aブロック優勝
・第66回国民体育大会サッカー競技県代表２名
・沖縄県高等学校新人体育大会
　柔道競技　73kg級３位　100kg級３位
　サッカー競技　３位
・第20回全九州高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会
　48kg級（佐渡山彩奈１位）
・第19回沖縄県高校新人駅伝競走大会男子３位
・全九州選抜高等学校バレーボール大会女子出場

**《平成24年》**

・全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会
　48kg級　（佐渡山彩奈２位）
・沖縄県高等学校総合体育大会
　水泳競技（砂川史果３位）（古謝孝明３位）
　柔道競技（砂辺一行３位）（大井達也３位）
　サッカー競技　準優勝
　陸上競技　男子400m １位　男子競歩１位
　　男子5000m ２位
・第39回沖縄県高等学校野球新人大会優勝
・第14回全国高等学校女子ＷＬ競技選手権大会
　48kg級　（佐渡山彩奈３位）
・第92回全国高等学校ラグビー大会県予選３位
・沖縄県駅伝競走大会男子３位　女子３位
・全国高校サッカー選手権大会沖縄県予選優勝
・全国高校サッカー選手権大会出場
・第21回全九州高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会
　63kg級（福里悠）75kg級（根間穂奈美）１位
・天皇杯全国都道府県対抗男子駅伝競走大会
　２名派遣（平良雅喜　瑞慶覧信哉）
・沖縄県高等学校新人駅伝競走大会女子初優勝
・第20回阿久根市長旗九州選抜高校駅伝競走大会女子駅伝出場

# 本校の体育系部活動の足跡

宮古工業高等学校

宮古島市街地を見下ろす風光明媚な二重越（ふたえごし）丘陵に立地する宮古工業高校は1968年（昭和43年）に宮古産業技術学校として開校し、1970年に琉球政府立宮古工業高校、1971年の祖国復帰を期に沖縄県立宮古工業高校と改称され現在に至っています。

校訓『敬愛』『自主』『創造』の３本の柱を掲げ、『凡事徹底』教育を推進し、「文武両道」と「ものづくり教育」を実践し「将来のスペシャリスト」として社会に貢献する人材を育成する目標のもと、日々の教育活動に取り組んでいます。

校門に入ると校訓と全国エコデンレース５年連続日本一の石碑と共に、全日本学校緑化コンクール準特選の碑があり、緑豊かで広大な敷地は緑の芝生と季節に合わせた草花が咲きほこり、来校者の目を楽しませてくれます。

平成16年度からの本校の体育系部活動の歴史を紐といてみますと、最も顕著な活躍を見せているのはボクシング部です。平成19年の沖縄県高等学校新人大会で知念健太郎がミドル級で優勝したのを皮切りに、平20年度の県高校春期大会、県高校総体、平成21年度にはウエルター級、ミドル級の階級で県大会に優勝し、全国総体出場を勝ち取っています。またバンタム級の知念大樹が県新人大会や県総体で優勝し、美ら島沖縄総体2010に出場しています。その後もボクシング部の活躍はとどまるところを知らず、平成23年には県高校ボクシング選手権大会でピン級の長濱和良とフライ級の比嘉大吾が優勝、ライトフライ級の川満俊輝が２位、バンタム級の松川允紀が３位となっています。また平成24年の県高校総体ではピン級の長濱和良が１位、ライトフライ級の川満俊輝が２位、フライ級の比嘉大吾が２位となり、全九州高校総体に出場して川満俊輝と比嘉大吾がＢパートでそれぞれ１位に輝いています。平成25年には全九州高校新人ボクシング大会で比嘉大吾がＡパート２位、川満俊輝がＢパート３位となり、県高校春期大会では川満俊輝と比嘉大吾が優勝、松川允紀が２位、下里守が３位、ウエルター級の根間大成が２位となっています。また、平成25年度県高校総体でも川満俊輝と比嘉大吾が優勝し全九州高校総体、全国高校総体にも出場し川満が５位、比嘉がベスト16に進出するなどして、10月に東京で開催される国民体育大会へも県代表としての出場も決まっています。

ボクシング部の次に活躍している部は、陸上部です。平成16年の県高校総体で友利隼人が110ｍＨ、砂川信一が円盤投げで２位に入り、南九州大会に出場しました。また県高校新人陸上で渡口慎二が110ｍＨで３位になり全九州陸上に出場しています。平成20年には県高校総体で高里智樹が棒高跳びで４位になり、南九州大会に出場しています。平成21年には県高校総体で高里智樹が３位で南九州大会出場、県高校新人陸上では４ｍ35の宮古地区高校新記録で２位となり、全九州大会に出場しました。平成22年には県高校総体で高里が３位、上原晋之助が走り高跳びで５位に入り南九州大会に出場し、高里智樹が４位に入って美ら島沖縄総体2010に出場しました。県高校新人陸上では上原が１ｍ92で３位に入り全九州新人陸上へ参加しています。平成23年には県高校総体で上原が走り高跳びで優勝し南九州大会に出場し、３位に入って東北地方で開催された全国総体に参加しています。上原はその後も２ｍ04まで記録を伸ばして宮古地区高校タイ記録をマークしています。平成24年には県総体で伊波翔太が円盤投げ、新里祐一が砲丸投げでそれぞれ６位に入って南九州大会に出場しています。県高校新人陸上では新里が２位、久貝勇介が８種競技で３位となり、全九州高校新人陸上に参加しています。平成25年には県高校総体で久貝勇介が８種競技で３位になって南九州大会に参加しています。

その他の部では平成24年の県総体の柔道90kg級で仲地隆裕が２位に入り九州大会に参加しています。

宮古工業高校では現在、ボクシング部や陸上・駅伝部を初めバスケットボール部、卓球部、サッカー部、野球部、柔道部等が活発に活動しており、地区大会や県大会での優勝・上位入賞を目標に、顧問・部員が一丸となって日々練習を積み重ねており、今後の活躍が期待されます。

結びに、専門高校である宮古工業高校はエコデンやアイデアロボット、ものづくり、家庭クラブ等の専門系の部活動、各種の資格・検定の取得と部活との両立を目指して取り組んでいます。また、同名校交流として、岩手県立宮古工業高校と20年以上に渡って交流があり、2011年の東北大震災の際には一日も早い復興を祈念して、全校生徒、職員による義援金の贈呈と激励の寄せ書きを、直接届けることができました。

# わが校の運動部

宮古総合実業高等学校

本校は、宮古農林高等学校と翔南高等学校が合併して誕生した学校であり、今年度で６周年を迎えます。

農林系学科と水産系学科、商業系学科が一つの学校として新たな一歩を踏み出し、今年度に至るまで様々な課題を解決していきながら、進んできました。その中で、生徒はのびのびと学校活動に取り組み、農業関係では、環境班が平成15年に「水と食に関する研究」でコカコーラ環境教育最優秀賞を受賞し、現在も更なる研究を継続しています。農業クラブ大会でも県大会、九州大会、全国大会でも活躍をしております。

商業関係でも、県大会において上位入賞を果たし、全国大会でも上位入賞を果たす程の力をつけてきております。各学科、それぞれの特色を活かし、日々努力をしているところであります。

今回は本校の運動部活動の現状についてご報告させて頂きます。

本校で13の運動部活動（同好会も含む）を設定しています。男女バスケットボール部をはじめ、女子バレーボール部、男女陸上競技部、柔道部、野球部と日々練習に取り組んでおり、放課後や休日は活気ある活動が観られます。

平成22年にはボクシング部のジュリアンジョンソン君が九州大会制覇、全国高校総体準優勝と輝かしい成績を残しました。また、平成24年には女子バレーボール部の川満杏寿さんが沖縄県国体少年女子のメンバーとして選考され、個々の能力の高さをアピールすることができました。また、部に昇格した柔道部が団体戦で上位入賞をねらえるところまで成長し、１月の全国選手権大会の予選では念願の三位入賞を果たすことができました。

平成25年度にはボクシング部の狩俣綾汰君が、沖縄県高校総体で今まで惜敗していた相手に勝利を収め、九州大会の出場権を獲得しました。九州大会でも持ち前の力を発揮し、準優勝に輝き、全国高校総体の出場権を獲得することができました。

柔道部は団体戦で決勝リーグに進出することができ、リーグ戦でも今まで一勝もすることができなかった豊見城高校に勝利し、堂々の三位入賞を果たし、金鷲旗全国高校柔道大会の出場権を獲得しました。個人戦でも宮国敦己君が66kg級で三位、譜久村勝彦君が81kg級で三位に入賞しました。

陸上競技では、女子のやり投げで池間舞理菜さんが宮古島新記録で六位入賞を果たし、南九州大会出場権を獲得しました。平成24年度には総合順位が54位でありましたが、平成25年度はランクアップが期待でき、部員達の刺激になると思われます。

それぞれの部が、それぞれの目標に向かって努力を積み重ねています。その中でさらにより良い環境を作っていこうと取り組んでいることがあります。

部それぞれで活動するのではなく、宮古総合実業高校運動部として、学校を活性化していこう、部活動をしてよかったという環境作りをしていこうということを目標に掲げ、活動をスタートさせました。

まず、同じ目標に向かって、同じ空間で集中して頑張ろうということで、「部活動生定期考査前合同勉強会」を視聴覚室で開催し、職員・生徒から大変好評でありました。部員同士で教え合いをしたり、足を運んで下さった先生方に積極的に質問をしたりと良い雰囲気で学習する姿勢がみられました。

次に清掃活動を通して、気付きの部分と思いやりの精神を養うことを目的に、部室周辺清掃を毎日取り入れました。生徒は黙々と自分達の役割をこなし、責任を持って取り組むことができています。引き続き継続していきたいと考えています。これらの活動を通して、得るものの大きさを生徒自身が実感し、社会に自信を持って羽ばたいてくれれば幸いです。

これらの活動は、他校の取り組みを参考に本校でできるようにアレンジしたものであり、これからも意見交換等を行いながら、部活動活性化のために生徒が心から充実感を味わえる環境作りに努めていきたいと考えています。

# 高体連創立60周年を迎えて

本部高等学校

**○本校の概要**

本校は、昭和42年に開校され、緑の山並みを背景に、眼下に広がる東支那海、海上に浮かぶ、伊江島、水納島を眺望できる風光明媚な地にあります。

また、校内の緑化や花の手入れが行き届き、全国唯一のカルスト地形の岩石園を擁しており、抜群の学習環境であります。

平成13年度から本部町内の中学校と連携した中高一貫教育、平成15年度には、生徒の個性、地域の特性を活かしたコース制（文理、情報、スポーツ・基礎福祉）を導入しています。

現在、各学年３クラス、生徒数237名と規模は小さいが、志や夢を大きく持ち、明朗で思いやりがあり、責任感のある生徒の育成を目指しています。

朝の読書活動は、その取り組みが高く評価され、平成15年度には、文部科学大臣賞を受賞しております。

また、地域に根ざした学校づくりを推進しており、家庭、地域と連携を密にし、学校への協力と理解を深めています。平成24年度には、その活動が評価され、優良PTA文部科学大臣表彰を受賞しました。

部活動に関しては、かつては陸上、ソフトテニス、カヌーを始め多くの部が全国大会で活躍し、文化系においても、弁論、合唱、書道などが全高大会で上位に入賞しています。

最近は、ゴルフ部の活躍が目覚ましく、全国大会での優勝、国際大会への出場、日本ジュニア、日本アマチュア選手権大会で２連覇した比嘉真美子、全国高等学校ゴルフ選手権大会で優勝した比嘉一貴を始め、優秀な人材を輩出しています。

**○教育目標**

教育基本法、学校教育法の精神に則り、人格の完成を目指し、個性の伸長を図るとともに、心身共に健康で、豊かな教養と情操を身につけ、地域・国家社会に貢献できる人間を育成する。

**○校訓**

「明朗」「誠実」「友愛」「気迫」

**○体育系部活動の足跡**

**平成16年**　沖縄県高等学校総合体育大会
カヌー競技　女子シングルス優勝
（當間早希）
卓球男子ダブルス準優勝

**平成18年**　沖縄県高等学校総合体育大会
ゴルフ競技　女子団体優勝
九州高等学校ゴルフ選手権大会
女子団体準優勝

**平成19年**　第35回沖縄県高等学校ボーリング
選手権大会　個人優勝（諸喜田良）
全国高等学校ゴルフ選手権大会九州大会
女子団体優勝
女子個人優勝（垣花彩那）
第１回USAハワイ・ジャパンジュニア
カップ
日本代表（与那嶺真代　仲村渠円）

**平成20年**　全国高等学校ゴルフ選手権大会
女子団体３位 女子個人３位（垣花彩那）

**平成21年**　九州高等学校ゴルフ選手権大会
男子団体準優勝

**平成22年**　全国高等学校ゴルフ選手権大会
女子個人優勝（比嘉真美子）
第16回日本ジュニアゴルフ選手権
大会　女子個人優勝（比嘉真美子）

**平成23年**　ブリジストンチャンピオントーナメント
優勝（比嘉一貴）
沖縄県高等学校総合体育大会
男女団体・個人優勝
日本女子アマチュアゴルフ選手権大会
優勝（比嘉真美子）
全国高等学校ゴルフ選手権大会
男子団体準優勝

**平成24年**　JGAアカデミックアウォード
最優秀選手表彰（比嘉真美子）
優秀部活動表彰
日本アマチュアゴルフ選手権大会
準優勝（比嘉一貴）

**平成25年**　全国高等学校ゴルフ選手権春季大会
優勝（比嘉一貴）
JGAアカデミックアウォード
最優秀選手表彰（比嘉一貴）
トヨタジュニアワールドカップ
４位（比嘉一貴）